

## 令和四年度入学式 祝辞

ご紹介賜りました、東北工業大学同窓会の会長を務めております秋元俊通です。

皆様の晴れの門出に相応しく桜の花がほころび始めた本日、ご入学の皆様とご家族の皆様にご心よりお慶びを申し上げます。ご入学の皆様は、本日より当同窓会の学生会員とされました。会員三万七千有余人を代表して、改めて歓迎の言葉を贈らせていただきます。現下のコロナ禍の中でのご入学については、大変お気の毒と存じますが、考えられる十分な対策を講じられた上で、有意義な大学生活を送られることを切にお祈り申し上げます。

当同窓会は、在学中の皆様へ、入学記念品の贈呈、就職情報の提供、同窓生の集いへの招待、そして課外活動への支援など様々なサービスを用意して、皆様をご支援させていただくよう努めております。また各地に地域支部を設け、後援会と共同で地域での懇談なども行っております。

さて、このコロナ禍の中でのご入学にあたっての皆様へ、「艱難汝を玉にす」の言葉を贈らせていただきます。皆様の大半は十年前の東日本大震災、その後の台風などによる雨災、昨月の福島沖地震と天変地異を経験されておられると思いますが、自然災害以外にも災難は数多くございます。経済面では、平成三年のバブル崩壊とその後の失われた二十年がございましたし、平成二十年の世界的金融危

機であったリーマンショック、その他にも九・一一時多発テロに代表されるテロ事件、各地の戦争や戦闘行為などもございました。これらは皆様も教科書等でご存知のことと存じます。また、現在のコロナ禍も将来コロナショックとして教科書に載ることでしょうし、現在も続いているウクライナ戦争もございます。更に、身近なことですと、自分や家族の病気やケガ、交通事故または経済難からのリストラクション、いわゆるリストラなどもそうです。このように、人生には数多くの災難が待ち受けているものですが、これを試練として受け止め、知恵を絞り、体を使って何とか乗り越える力を付けることが大切です。これまでのいろいろな災難にも私たちには復活してきた実績がございます。また、皆様にも、既にこの一年数か月をコロナ禍の環境の中で、勉学にいそしんでこられた実績がございます。

これからは、これまでの基礎的勉学の上に、それぞれの専門知識を習得し、また研究を積みかさねられ、磨かれた珠玉として、将来の日本を背負っていただけますことを期待いたしております。

私たち同窓会も、在学中の支援はもとより、リモート授業や課外活動の自粛などで、ややもすると希薄になりがちな人間関係を構築するお手伝いをさせていただきます。人と人との直接の出会いによって、その生活環境を共有し、同じ価値観を持つことができるようになって初めて、お互いを思いやり、助け合う精神が生まれます。その希薄化を防ぎ円滑化を進める一つとして、同じ学校に通った私

たちが先輩後輩の関係、いわゆる同胞として理解し合えることがたくさんあります。この人と人をつなぐ意味で、同窓会の役割が發揮できると確信いたしております。

先に、「艱難汝を玉にす」の言葉を贈らせていただきましたが、もう一つ、工大の入学式に欠かせない高浜虚子の句を披露させていただきます。

「春風や闘志いだきて丘に立つ」

これは、自ら目標を立て、それに立ち向かう決意表明の句です。

「しゅんぷう」は春風のこと、丘はここ八木山そして長町キャンパスの地、まさに皆様の心境にぴったりの句ではありませんか。

「春風や闘志いだきて丘に立つ」

この句をお贈りさせていただき、皆様の今後のご健闘をお祈りし、入学式の祝辞とさせていただきます。

令和四年四月五日

東北工業大学同窓会々々長 秋元 俊通